

陸運安全協力会
会員会社各位

昭和四日市石油(株)四日市製油所
陸運安全協力会長 岩野 淳作



LA 油種間違い防止の取組みと今後の課題

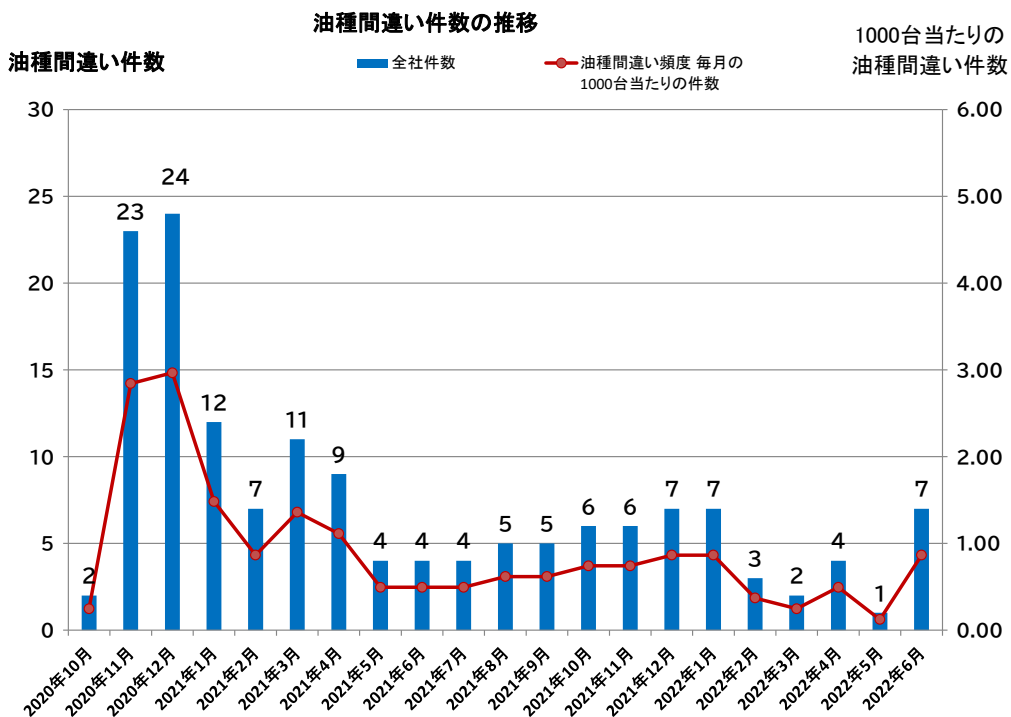
平素、安全協力会の活動にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

ローディングアーム(以下 LA と記載)油種間違い防止への取組み経緯と現状について以下に報告します。

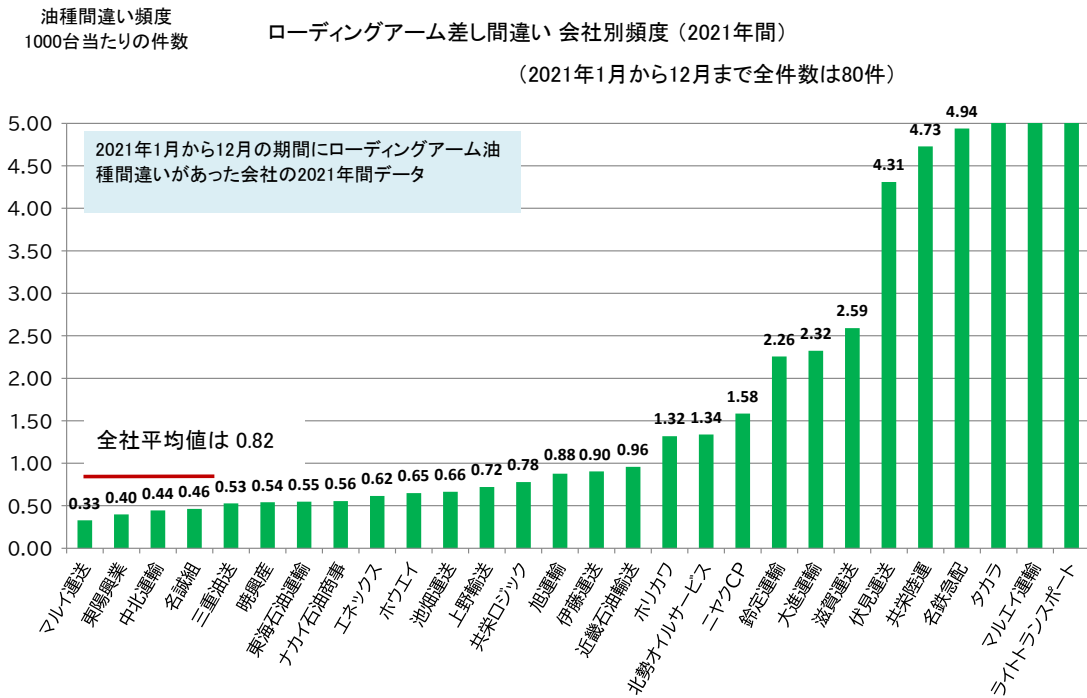
1. これまでの経緯

- (1) LA 油種間違いは、従来軽故障扱いで積込継続が可能であったが、コンタミによる品質事故を防止するため、2020年10月末より重故障に変更し、件数の集計が開始された。その結果、油種間違いが11月23件、12月24件と多かった。
- (2) 2020年12月24日、注意喚起文書『LA油種間違い再発防止のお願い』が発信された。同時に、LA油種間違いは2月からは、ペナルティ扱いとする通知があった。その後マニュアルの改定、設備対応が行われ4月よりペナルティが適用された。
- (3) 2022年3月から5月まで、【油種間違い防止の3点確認強調月間】の取組みが行われ3点確認の実施状況を確認した。
- (4) 2022年6月よりLA油種間違いのペナルティ緩和が適用された。

2. LA油種間違い件数と改善の状況

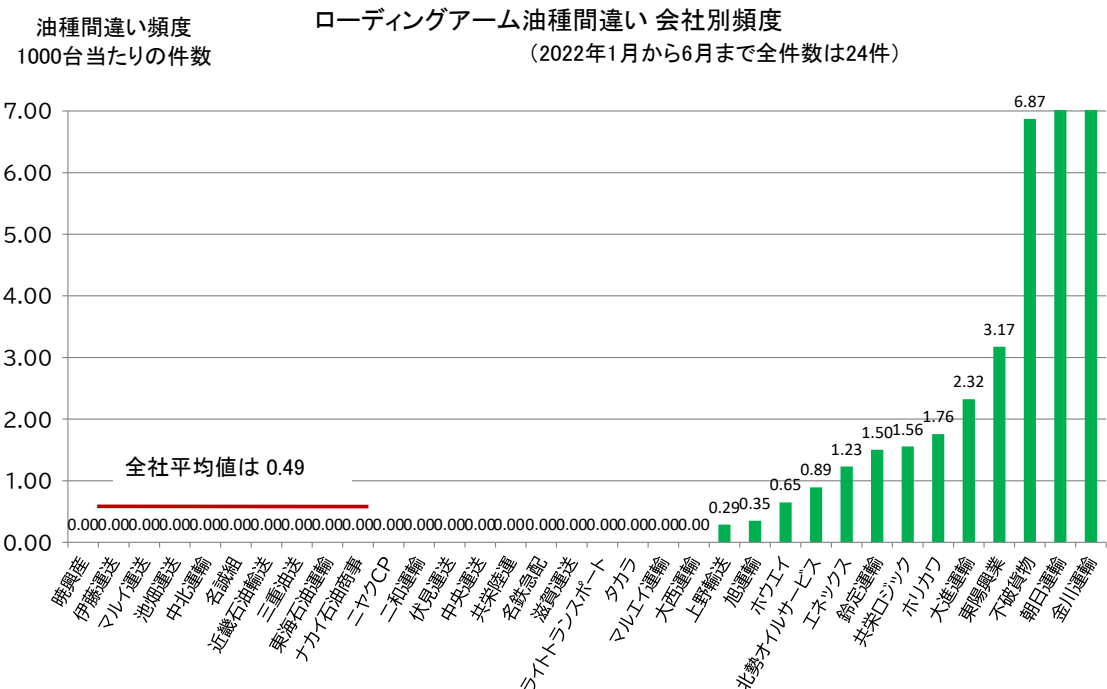


- (1) LA 油種間違い件数は、2021 年は累計 80 件、2022 年は 6 月までで 24 件で、年間ベースでは対 2021 年比で 40%減少する見込みである。
- (2) 2022 年 1 月から減少していた件数が、6 月に 7 件と急増しており、今後注意が必要である。
- (3) 2021 年の LA 油種間違い各社別内訳



- ① 2021 年に LA 油種間違いが発生した会社は、30 社であり、この 30 社で白油の積込車両数は、全体の 91%を占めている。
- ② 油種間違いがなかった会社を含んで全社平均では、1000 台積込あたり 0.82 台 LA 油種間違いが発生した。

(4) 2022 年 1 月から 6 月までの各社内訳



- ① 2022 年上半期に LA 油種間違いが発生した会社は、13 社であり、この 13 社で白油の積込車両数は、全体の 56%である。
- ② 全社平均では、1000 台あたり 0.49 台 LA 油種間違いが発生し、前年比では、40%減少する見込みである。

(5) LA 油種間違いの改善状況 (2021 年と 2022 年上半期の比較)

会社名	2021年件数	2022年上半期件数	改善率
暁興産	4	0	100
伊藤運送	4	0	100
マルイ運送	1	0	100
池畑運送	2	0	100
中北運輸	1	0	100
名誠組	1	0	100
近畿石油輸送	2	0	100
三重油送	1	0	100
東海石油運輸	1	0	100
ナカイ石油商事	1	0	100
ニヤクCP	2	0	100
伏見運送	3	0	100
共栄陸運	2	0	100
名鉄急配	2	0	100
滋賀運送	1	0	100
ライトランスポート	2	0	100
タカラ	1	0	100
マルエイ運輸	1	0	100
関東伏見運輸	1	0	100
上野輸送	15	3	60
旭運輸	10	2	60
北勢オイルサービス	3	1	33
鈴定運輸	3	1	33
ハウエイ	4	2	0
大進運輸	2	1	0
ホリカワ	3	2	-33
共栄ロジック	4	4	-100
エネックス	1	1	-100
金川運輸	1	1	-100
東陽興業	1	4	-700
不破貨物	0	1	悪化
朝日運輸	0	1	悪化

退会
退会

- ① 2021 年に LA 油種間違いがあった会社で、2022 年上半期ではゼロ件(改善率 100%)となった会社は、19 社である。
- ② 2022 年の方が、件数が増えると予想される会社(改善率がマイナス および悪化の会社)は、7 社であり、全社的な取り組みが必要である。

$$\text{改善率} = (\text{2021 年件数} - 2 \times \text{2022 年上半期件数}) / \text{2021 年件数} \times 100 \quad (\%)$$

(6) 油種間違い防止 3点確認 強調月間

2022年 3-5月	社名	パトロール台数	3点確認 良の台数	3点確認 良の割合 %
1	上野輸送	64	54	84%
2	旭運輸	41	34	83%
3	共栄ロジックサービス	31	21	68%
4	東陽興業	30	22	73%
5	暁興産	29	27	93%
6	近畿石油輸送	28	19	68%
7	伊藤運送	27	16	59%
8	マルイ運送	20	11	55%
9	ハウエイ	20	20	100%
10	名誠組	18	13	72%
11	三重油送	17	12	71%
12	池畑運送	11	7	64%
13	北勢オイルサービス	11	9	82%
14	鈴定運輸	9	6	67%
15	東海石油運輸	8	6	75%
16	ホリカワ	6	4	67%
17	エネックス	5	5	100%
18	大進運輸	5	4	80%
19	竹原運輸	5	4	80%
20	中北運輸	5	3	60%
21	ナカイ石油商事	4	2	50%
22	ビューテックローリー	3	1	33%
23	昭豊運輸	2	2	100%
24	中央運送	2	2	100%
25	滋賀運送	2	0	0%
26	丸一運送	2	2	100%
27	名鉄急配	2	0	0%
28	ニットー	2	0	0%
29	共栄陸運	1	1	100%
30	三永産業	1	1	100%
31	二和運輸	1	1	100%
32	ライトトランスポート	1	1	100%
33	大西運輸	1	1	100%
34	協和運送	1	1	100%
35	バロンパーク	1	1	100%
36	イビデン産業	1	1	100%
		417	314	75.3%

- ① 2022年3月から5月 3点確認パトロール を417車に実施した。3点確認が行われていたのは314車(75.3%)であった。
- ② 白油の年間積込台数は、97,100台程度なので、2022年1月から6月の積込みで3点確認を行っていない台数は、 $97100 \times 0.5 \times 0.247 = 11,991$ 台となる。1月から6月にLA油種間違いは24件発生したので、1000台当たりの2.0件の油種間違いが発生したことになる。
つまり、3点確認を行わないで積込をすると500回に1回程度の高い頻度でLA油種間違いを起こしてしまうことになる。

3. 今後の取組み

① 運行管理者が中心となった全社的取組みの推進

LA 油種間違いは、品質事故に直結する重大な誤操作であることを全員が再度認識して下さい。

ローディングアームを差替えればよい といった軽い問題ではありません。

特に、油種間違いが改善していない会社は、再度全乗務員に 3 点確認の重要性を社内教育し全乗務員が励行するように指導頂きたい。

② 3 点確認説明動画の改定

これまでの経緯をふまえて 3 点確認説明動画 を改定しました。

各社の社内教育用にご活用をお願いします。

3 点確認説明動画

URL : http://www.rikuun.info/video/yushu_kakunin2.mp4

QR コード



以上